

蓬田村産業振興促進計画

平成31年2月20日 作成
青森県東津軽郡蓬田村

1. 計画策定の趣旨

蓬田村は、青森県の北西部、津軽半島の東側陸奥湾沿岸に位置し、南側を県庁所在地である青森市、北側を外ヶ浜町に面している地域です。面積は80.84km²で、南北に9km、東西に約11kmの広がりを持っており森林が全体面積の約76%を占めています。本村の西方を津軽半島の脊梁、中山山脈が走り、この山脈の麓から蓬田川、阿弥陀川により形成された沖積層が広がっているため、村全体が東向き斜面となっており、海岸線に沿って南北に標高2～40mのゆるやかな平地が約5kmの幅で続いています。集落や約1,250haの耕地は、ほとんどがこの平野部にあります。

県都青森市の中心部まで約20kmの近距離にあり、国道280号バイパスにより車で約30分、東北新幹線新青森駅までは約25分、JR津軽線ではおおよそ30分で青森駅に結ばれています。また、高速交通網の連絡としては、東北自動車道青森インター、青森空港へのアクセス道路が国道280号バイパスと連結しており交通網の充実が図られています。

村の人口の推移を国勢調査からみると、昭和35年国勢調査の5,425人以降、減少し続けて平成27年では2,896人となり、昭和35年と比べると△2,526人（△46.6%）と大幅に減少し、世帯数においては昭和60年に1,000世帯に達したものの、平成27年では959世帯となっています。また、一世帯当たりの人員は昭和35年で5.8人でしたが、平成27年では3.0人と大きく減少し、核家族化が進行し、高齢者の単身・夫婦世帯も増加しています。

本村の主な産業は稲作が主体の農業とホタテ養殖が中心の漁業です。農業は、耕地面積の大部分が水田であり、農業センサスにおける農家戸数で比較すると昭和50年に697戸であったものが平成27年では246戸にまで減少しています。また1戸当たり耕作面積は3.74haであり、農地流動化に伴う経営規模の拡大やトマト生産等の複合化が図られています。

水産業はホタテ養殖の振興により順調に漁獲高を伸ばし、その生産は平成2年に約2,700トンの水揚げがあり、全漁獲高の94.0%を占めていました。その後、平成10年には4,700トン、平成22年には5,730トンと順調に漁獲高を伸ばしていましたが、平成23年から高水温による稚貝の大量のへい死の影響が数年続き、今後も天候や気温による影響やホタテの価格変動による所得の不安定要素への懸念があるため、今後は省力化、協業化のための施設の整備を進め、また付加価値の高い物への移行が求められています。

商工業においては企業誘致を促進し、雇用の場の創出を図ることによる地域経済の活性化が求められています。

本計画は、本村の産業の現状把握と課題を示し、課題の解決に向け、蓬田村総合計画

の理念や方向性に即しつつ、内外環境の変化に積極的に対応して、本村として目指すべき産業振興の方向性や産業振興に必要な取組を示し、もってまちづくりを支える地域経済の活力再生と雇用の場を創出し若年層の定住を図ることを目的として半島振興法第9条の2第1項の規定に基づき策定するものです。

【総人口の推移】

(単位：人)

区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	3,786	3,480	3,405	3,271	2,896
年少人口 (14歳以下)	562 14.8%	480 13.8%	390 11.5%	332 10.1%	291 10.0%
生産年齢人口 (15～64歳)	2,417 63.8%	2,054 59.0%	2,004 58.9%	1,872 57.2%	1,500 51.8%
老年人口 (65歳以上)	807 21.3%	946 27.2%	1,011 29.7%	1,067 32.6%	1,080 36.8%

資料：国勢調査

【産業別就業人口の推移】

(単位：人)

区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
就業人口	2,001	1,809	1,647	1,613	1,409
就業率	52.9%	52.0%	48.4%	49.3%	48.7%
第1次産業	649 17.1%	548 15.7%	537 32.6%	469 29.1%	409 29.0%
第2次産業	652 17.2%	558 16.0%	393 23.9%	423 26.3%	314 22.3%
第3次産業	698 18.4%	703 20.2%	717 43.5%	717 44.6%	717 48.7%

資料：国勢調査

2. 計画の対象とする地区

本計画の対象となる地域は、蓬田村全域とします。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までとします。

4. 産業振興の基本的方針

(1) 蓬田村の産業の現状

本村の基幹産業は稲作を中心とする農業とホタテ養殖の漁業の第一次産業ですが、現在は担い手の減少や米価の下落等の問題により先行きが見えない状況にあります。稲作農家は毎年の生産調整により耕作面積が減少し続けていて、その収入減少をトマト等の

野菜生産で補ってきましたが米価の下落と価格競争の激化により、その経営は厳しいものとなっています。

ホタテ養殖を柱とする漁業でも、近年まで海水温の上昇や天候の影響で大きな被害を受けており、また漁業者の高齢化も課題の一つです。

産業大分類別の就業者数をみると、平成7年度以降は男女ともに卸売・小売業、サービス業に従事する人が多くなっており、また第三次産業を中心とした産業構造がデータからも見受けられます。これは隣接する県都、青森市が通勤圏域であり、多数の住民が通勤しているためです。さらに高齢化に伴い、村内外に老人福祉施設が多数開所し、そこに従事する人も多くなっているためと思われます。

インフラ基盤についてみると、国道280号バイパスが村内を縦断しており、青森市中心街まで約30分、東北新幹線新青森駅まで約25分、奥津軽いまべつ駅までは約40分の距離にあり、その他1時間以内で、青森空港、東北自動車道青森ICとアクセスの面では充実しているものの企業進出や観光客の集客に結びついていないのが現状です。

○ 農林漁業・農林水産物等販売業の現状

平成27年農林業センサスによれば、本村の農家戸数は246戸（対平成22年比16.6%減）となっている一方で、徐々に経営規模を拡大している農家も少なくありません。しかし、TPP問題や地域間競争の激化等、状況はますます厳しくなっており、さらには有害鳥獣による農作物の被害も発生しており、年々、農業経営は深刻さを増しています。

水産業については、ホタテ養殖の振興と漁業者の努力により順調に漁獲高を伸ばし、その生産は平成22年には5,730トン、6億8,500万円に上ります。

近年は金額的に安定した販売額を確保していますが、養殖残渣や高水温による稚貝の育成障害等の問題と就業者の高齢化、後継者不足等の課題が見られ、漁船隻数、経営体数は減少傾向にあります。（平成25年の村の漁業経営体数は57経営体であり、平成20年と比べ13.6%減少している。）

ただ農林漁業では、近年、他の産業との結びつきにより、生産（第一次産業）から加工（第二次産業）、流通販売（第三次産業）を総合的に行う六次産業化が注目されるなど、社会の要請に応じた新たな産業形態が生まれてきます。このような業態は、情報通信技術等の活用と組み合わせることで、地理的条件不利性を克服できる有効な手段と考えられます。当村においても産直施設から全国の消費者を対象とした特産品の販売を検討していきます。また、大規模農業者や農業生産法人等の経営多角化の手法も注目されており、今後、その取組を拡大していく必要があります。

○ 商工業の現状

商業においては、平成26年の商業統計調査によると、本村の商業事業所数は22事業所、従業者数は129人、年間商品販売額は3,298百万円であり、1事業所当たりの従業者数は5.9人と極めて小規模です。青森市内の郊外型大型店舗の進出に加え、ライフスタイルの多様化、情報社会の進展、流通システムの変革等、環境は

大きく変化しており、村内の小売店は減少しています。

工業において、本村の製造業事業所は（株）蓬田紳装のみとなっています。（株）蓬田紳装における就業者は、当村在住者が全体の約40%を占めており、青森市からの通勤者が約40%、東津軽郡が約20%となっています。また女性従業員が全体の約85%を占め、年代別構成では10～20代が9.1%、30代が12.2%、40代が24.9%、50代以上が53.8%となっています。近年では従業員の担い手不足が喫緊の課題となっており、設備投資による効率化に向けた取組が必要です。

今後は充実しつつある交通インフラと今後整備予定の情報インフラの利点を活かして、担い手不足の解消、競争力強化と販路拡大のために設備投資や事業規模の拡大を推進します。

○ 宿泊業・観光関連産業の現状

平成28年の観光客入込数は延べ201千人ですが本村には宿泊施設がなく、海水浴場利用者と周辺でのキャンパーが大半です。近年、観光入り込み客は減少傾向にあり、観光施設の改修や魅力づくりの施策により集客の回復を図ります。

当村は、自然（玉松海水浴場、大倉岳等）や歴史（蓬田城史跡、森林鉄道跡地等）・文化（玉松太鼓等）、食（トマト、ホタテ等）などに関する観光資源が点在しているものの、発信力に乏しく、またその資源が有効に活用されていない状況にあります。さらに個々の資源相互の結びつきが弱く、観光利用者の受け入れ態勢も不十分な状況にあります。

一方で、温泉施設や物産販売施設の賑わいづくりと天然資源を活用したイベントを開催し、地域住民と訪問客が交流し滞在できる取組を目指しています。

○ 情報通信・情報サービス業等の現状

情報サービス業のほか、インターネット附随サービス業、コールセンターに係る事業等については、地理的条件不利性に比較的影響を受けない上、地域において一定数の雇用確保にも繋がる業種であると考えられます。立地件数は、皆無ですが、今後、本村においても誘致促進すべき業種の一つであると考えます。

(2) 蓬田村の産業振興を図るうえでの課題

蓬田村の産業振興を図るためには、大きく分けて、既存事業の活性化と企業誘致活動をはじめとする新事業の創出の2点が課題であると認識しています。各産業においては以下の課題が挙げられます。

○ 農林漁業・農林水産物等販売業における課題

農業、林業、漁業においては、まず、担い手の育成や新規就業者の募集と生産技術の向上を図ることが最重要課題と思われれます。また、国内農産物の価格低迷や消費者ニーズの変化、地域間競争の激化等を踏まえ、農林水産物のブランド化や生産から販売までを一貫して行う六次産業化の促進等、農業経営の安定化を図ることが課題となっています。

○ 商工業における課題

商業においては、地域事業者の弱体化が顕著であり、今後は住民参画により地域の特色を生かした活性化を図るほか、農水産業や観光などの地域資源を活用した商品開発などに取り組む事業者を支援できる体制を確立していきます。

工業においては、近年、新規事業者が少ないという課題を解決するため、立地条件や地域資源を生かして地元雇用に結びつく企業の誘致活動を行い、また起業支援を行えるかが重要になってきます。

また、グローバル化の進展にあって厳しい競争環境に置かれている当村の製造業にとって、常に時代の変化に対応しながら、技術的な向上、製品開発力の強化を実施することが課題となっております。当村では中核となる企業が第三セクターであり、建設から40年以上経過していることから、設備や施設の老朽化をいかに解消し、省力化と生産性向上を行うことができるかが今後の課題です。

○ 宿泊業・観光関連産業における課題

飲食サービス業をはじめとする観光関連産業においては、村内資源を活用した取組を展開し、また近隣町村との広域連携でのルート観光を強化します。地域の特性を生かした広域周遊や既存施設の有効活用を促進し、農林地や海、川の地域資源を活用した総合的な施策をどのように展開できるかが課題です。

また、年間を通しての観光地の特性を生かした良質なサービスの提供の確保及び宿泊施設等の整備を進めていけるかが課題となっております。

○ 情報通信・情報サービス業等における課題

新たな事業の創出に向けたインフラ整備や支援の強化のほか、地元住民の雇用の場を確保するため、企業立地の促進を図ることが課題となっております。

5. 産業振興の対象とする事業が属する業種

本計画における産業振興の対象業種を、製造業、農林水産物等販売業、旅館業及び情報サービス業等とします。

6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等の役割分担

(1) 蓬田村の取組

○ 租税特別措置の活用の促進

設備投資にかかる特別償却制度等の村内事業社への周知や利用相談を商工会等と連携しながら実施し、設備投資を促進します。また、半島振興対策実施地域において固定資産税の不均一課税の措置を行います。

○ 企業誘致の促進

企業誘致のための取組として、設備投資・雇用促進のための支援制度の創設について検討していきます。

○ 農林漁業における取組

蓬田村特産品ブランド化を目指した事業等を実施し、付加価値の高い農作物の生産振興や漁港施設・沿岸漁場の整備開発など生産基盤の整備や設備の新增設の促進に努めます。また、就労者の高齢化への対応のための人材育成について取り組みます。さらに、鳥獣被害を減少させるため、被害対策研修会や狩猟免許取得講習会を開催し、狩猟免許取得者の増加を目指します。

また、水産業では、守り・育てる漁業の充実や水産物の高付加価値化を促進するとともに、効率的・効果的な漁業の生産基盤づくりのため、漁場の保全に努め、漁港や漁港関連施設の適正な維持管理に努めます。

○ 商工業における取組

地域振興のための集客イベント等を開催し、商工会と連携しながら経営強化と環境整備に努め、既存商店街の活性化や地場産業の振興を図ります。また、地域外企業誘致のため、必要な情報提供等の支援を行います。

○ 観光振興と旅客誘致に関する取組

年間を通じて様々なイベントを展開し、教育旅行やスポーツ合宿誘致を推進します。また、農業や漁業体験等、他産業と連携し様々な体験観光や六次産業の推進に積極的に取り組みます。

(2) 青森県の取組

「アグリ」、「ツーリズム」、「ライフ」、「グリーン」の成長4分野において、地域に根差した産業の創出・強化と外貨獲得に取り組むとともに、各産業分野で顕在化している労働力不足に対応していくため、労働力の確保と生産性の向上に取り組みます。また、人口減少、高齢化、県民の健康づくりなどの課題を、ビジネスにおけるチャレンジのフィールドととらえ、創業・起業を支援することで多様な働き方の実現を目指します。

(3) 関係機関の取組

○ 商工会の取組

経営相談や講演会、講習会を開催し、人材育成の支援、商工振興のための活動等を行っています。また、支援だけではなく、各種イベントを実施し、地域活性化や異業種交流等の地域のネットワークづくりにも取り組んでいます。

○ 観光協会の取組

観光及び登山ガイド等をはじめとする観光情報の発信や海まつり、集客イベント等を実施し、また、旅行会社やメディア等へのプロモーション活動など、新たなイベントの企画に取り組みます。

(4) 関係機関が連携して取り組む事項

○ 設備投資の促進等

金融機関等と商工会が連携し、低利子融資制度の斡旋等に取り組み、設備投資等を促進し、生産技術を向上することに取り組みます。

- 経営力の強化
蓬田村と商工会等が連携して、利子補給事業などを実施することにより、企業経営安定化と生産性、経営能力の向上を目指して、企業間の同業種および異業種交流を促進し、相互の体質強化と組織の充実に取り組みます。
- 人材の確保
蓬田村が主体となり、次世代を担う技術者の確保と育成に向けて、企業等の連携を強化し、労働者の定住化、地元雇用の促進に取り組みます。
- 地域産品のブランド化
農業協同組合や漁業協同組合との連携のもとで、トマト、ホタテをはじめとする地域産品のブランド化に取り組みます。
- 地産地消の取組
農業協同組合、漁業協同組合、販売業者、商工会等と連携し、村内で生産された食材を提供するなど、地産地消を目指し取り組みます。
- 観光機能の強化
観光協会や村内における農業、商工業者等の連携も含めて、豊かな自然や歴史遺産、地場産品等を活用した農業体験、スポーツ施設を活かした合宿の誘致およびイベントのPRを強化して、観光機能の強化を図っています。

7. 計画の目標

計画の目標値を下記のとおりとします。

【設備投資件数・新規雇用者数】

業 種	設備投資件数 (社)	新規雇用者数 (人)
製造業	1	10
農林水産物等販売業	1	2
旅館業及び情報サービス業等	1	2